

自動回転ドアの事故防止対策に関する検討会 報告書（目次案）

- 0 . 前文
- 1 . 検討経緯
 - 1.1 検討会設置経緯
 - 1.2 検討会の開催状況等
- 2 . 我が国における自動回転ドアの設置状況等
 - 2.1 設置状況
 - 2.2 事故の状況
- 3 . 自動回転ドアの特徴
 - 3.1 自動回転ドアの構造
 - 3.2 自動回転ドアのメリット
(省エネ性能、暖・冷気の吹き込み防止、高層ビルでのドラフト防止効果)
 - 3.3 海外の規格等
- 4 . 自動回転ドアの事故防止対策(別紙ガイドラインに詳細を示す。)
 - 4.1 事故防止対策の基本的考え方
(リスクの把握・対策の立案・検証と安全性目標)
 - 4.2 関係主体ごとの対策
(建築設計者、ドアの製造・供給者、施工者、運行・管理者、点検・補修業者等)
- 5 . 当面取り組むべき対策と引き続き取り組むべき課題
 - 5.1 当面取り組むべき対策
(既存の自動回転ドアの改善、新規設置の考え方、注意喚起・情報提供等)
 - 5.2 引き続き取り組むべき対策
(規格等の整備、事故情報の収集と再発防止対策への反映、利用者等への情報提供・安全教育のあり方等)

(別紙)自動回転ドアの事故防止対策のガイドライン

報告書には検討会各回資料、議事録等を収録する。
別途作成される「業界マニュアル」を参考資料として収録する。